

クマによる人身事故など防止のため「クマ目撃マップ」の運用を開始

今年も、全国でクマの目撃が相次いでいます。本市でも、本年4月から8月までの目撃情報件数は142件と昨年度に比べ2.4倍（昨年同期間は59件）になっています。そこで、市民の皆さんから寄せられたクマの目撃情報などを地図上で表示する「豊岡市クマ目撃マップ」を作成しました。マップ上の青い目印をクリックすると、簡易情報（目撃年月日、場所など）が表示されます。また、マップ一覧の下端からは詳細情報が確認できます。

クマによる事故を防ぐには、クマを集落に寄り付かせないように、柿の実を早期に収穫するなど、協力して防除を行うことが大切です。

クマの目撃・痕跡情報は、農林水産課または各振興局地域振興課に連絡してください。

《問合せ》農林水産課 ☎23-11127



▲クマの出没場所が確認できる豊岡市クマ目撃マップ。二次元コードから確認できます。



日本・モンゴル民族博物館が国立民族学博物館と協定書を締結

9月1日、国立民族学博物館と学術交流および協力に関する基本協定書を締結しました。日本・モンゴル民族博物館では、収蔵品の調査に着手しており、昨年度から島村一平教授（国立民族学博物館人類文明誌研究部長）が実施されています。

今回協定を締結することで、収蔵品の借用や人材の派遣を相互に行うこと、日本・モンゴル民族博物館の活動への支援などが期待されます。

《問合せ》日本・モンゴル民族博物館

☎56-11000



▲国立民族学博物館（みんぱく）は1974年、大阪府吹田市に創設された、博物館をもった研究所です。文化人類学・民族学を中心とした研究、展示が行われており、世界の諸民族の社会と文化を学ぶことができます。

市政 ニュース

〔8月〕主な市政の動き

- 7日
 - ・市立ハチゴロウの戸島湿地内人工巣塔でコウノトリのヒナ3羽が巣立ち
- 18日
 - ・豊岡市オリジナル絵本完成発表会
- 21日
 - ・豊岡市市民津波避難行動調査検証業務研究成果報告書の提出
 - ・赤木正雄顕彰看板除幕式・贈呈式
 - ・ひょうご豊岡フェア@あべのハルカス（大阪市）の開催（～27日）
- 25日
 - ・市民総参加訓練（風水害）
- 30日
 - ・市議会9月定例会（～9月27日）
- 〔9月〕
 - ・「豊岡市クマ目撃マップ」の運用開始
 - 1日
 - ・国立民族学博物館と学術交流および協力に関する基本協定書を締結
 - 5日
 - ・豊岡道路佐野トンネル完成除幕式
 - 6日
 - ・豊岡演劇祭2024（～23日）



ひょうご豊岡フェア@あべのハルカスを開催



(左から玄武岩の玄さん、コウノトリのコーちゃん、地域おこし協力隊の松井未季さん、傳川一美さん、西上 均副市長) 本市の認知度や関心度が高い関西圏の皆さんに、本市への誘客と特産品販売を促進するため、ひょうご豊岡フェアを8月21日から27日までの7日間、あべのハルカス近鉄本店で開催しました。

《問合せ》秘書広報課 ☎21-9035

「観光資源」「豊岡靴」「出石皿そば」を軸に紹介

8月21日～27日
観光資源

「六面体豊岡」(食、自然、温泉、アート、城下町、伝統産業)の魅力映像などで紹介しました。



観光協会などが交代でPR。22日の但東の日は、たじまピーマンなどの特産物を販売しました。

8月21日～24日
豊岡靴

地域ブランド「豊岡靴」を紹介・販売しました。



会場周辺は、靴や小物のファッションブランドなどが出店。ターゲットに合った商品を販売しました。

8月25日～27日
出石皿そば

豊岡の食「出石皿そば」を提供しました。



出石で食を味わう行動を促すため、試食として2皿を提供。「おいしい」との声をいただきました。

8月25日(特別ゲスト)
片岡愛之助さん出演

イベントを盛り上げるため、片岡愛之助さんが駆け付け、豊岡の魅力を語っていただきました。



会場は、熱狂的なファンで埋め尽くされました。11月に開催する永楽館歌舞伎も紹介いただきました。

地域おこし協力隊が イベントを支援

地域おこし協力隊(OB・OGを含む)の皆さんに、企画から運営まで事業全般にわたる支援をいただきました。

また、地元食材を使用したスイーツの販売や来訪者の皆さんに豊岡の魅力を伝えるなど、会場を盛り上げました。



お菓子で豊岡を紹介することができ、嬉しかった

ゴージャス☆和代さん 地域おこし協力隊OGとして、ひょうご豊岡フェアに参加し、豊岡にご縁ある方、初めて豊岡に触れる大阪の方にもお菓子で豊岡を紹介することができ、嬉しかったです。スタッフ一丸となって臨み、皆さまの応援をもってお菓子も完売しました。実りあるフェアとなりました。

